

講義名	経営情報システム論（経済学部）			授業形態	
担当教員	寺口 敏生		開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	
	単位数	2	履修開始年次	3年生	ナンバリング・コード
主題と概要					
経営の内外で発生する関連情報を効率的かつ適切に収集・伝達・貯蔵・利用できるように構築したシステムを経営情報システムという。これらのシステムは、情報処理技術の高度化と情報通信技術の普及に伴い、意思決定の高速化や経営資源の最適運用等の場面で活用されている。本講義では、経営情報システムの構造と機能を紹介し、身近な例を引用しながら、情報社会における企業経営活動を理解することを目指す。					
到達目標					
経営情報システムの概要を理解し説明できるようになると同時に、経営情報システムの観点で企業経営の課題を発見できるようになる。					
提出課題					
講義中に、講義内容に関するレポート課題を出題する。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
レポート等のフィードバックは終盤の講義中に行う。					
評価の基準					
期末試験は実施せず、講義中に出題するレポート課題にて評価する。レポートの内容は3段階評価とする。レポート課題は、基本的に次回講義までに提出することとする。					
履修にあたっての注意・助言他					
講義資料は、講義開始前にWeb経由で提供する。レポート課題は、事情の説明があれば期日後も受け取るが、配点が少なくなる点には留意されたい。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他	
授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス 経営情報システムの概要 経営情報システムの変遷 組織の情報処理 組織におけるデータ利用 情報通信技術の発展と企業経営 経営情報システムの設計と開発 情報システムにおける倫理的・社会的問題 情報通信インフラと新しい技術 データベースと情報管理 デジタル時代における情報システムの利活用 企業経営とネットビジネス 組織コミュニケーション 情報システムと意思決定 まとめと演習 	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
講義中に紹介した内容は、必要に応じてインターネットや書籍を用いて復習し、講義内容への理解を深めて欲しい。	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
「経営と情報処理に関する専門的知識を身に付け、経済にまつわる情報を分析する能力の獲得」と「諸問題を幅広い観点から考察し、課題を発見できる能力の獲得」を達成するための科目である。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
講義に関する質問は、講義時間外でも随時受け付ける。	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり。具体的な事例を基に講義する。	
備考	